

2021年4月16日

株式会社三菱UFJ銀行

京都市との包括連携協定締結について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、本日、京都市と「SDGs, 京都創生, 経済の創造的発展, 持続可能な行財政の実現等に関する包括連携協定（以下 本協定）」を締結いたしました。

1. 本協定締結の目的

京都市は、数多くの日本の伝統産業が存在する文化的な魅力を有する都市であり、スタートアップ企業が成長し大企業となった実績を持つスタートアップ都市でもあります。一方で、少子高齢化や新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるインバウンドの減少等で、京都市を取り巻く環境は大きく変化しています。

当行は京都市と今まで以上に一体となって連携・協力関係を構築し、ともに環境・社会課題の解決に取り組み、京都市の持続可能なまちづくりに貢献していくことを目的に本協定を締結することといたしました。

2. 本協定の概要

- (1) スタートアップ・エコシステムの構築に関すること
- (2) 地域企業の持続的発展への支援に関すること
- (3) 地方創生, まちづくり, 脱炭素社会の実現等に係る取組の支援に関すること
- (4) キャッシュレス・デジタル化の推進, スマートシティの実現に関すること
- (5) 持続可能な行財政の実現に関すること

3. 本協定の特徴

本協定を具体的な活動とし、実効性を持たせるため、京都市及び当行の担当部署により「連携・協働作業チーム」を設置し、各項目の連携に係る企画、調整、推進、進行管理等を協働して行う予定です。

当行は、本協定を通じて、京都市が抱えるさまざまな環境・社会課題解決に取り組むことで、京都市の経済および地域社会に貢献してまいります。

以上